



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	54,483	1.5	35		21	92.9	55	
2022年3月期第1四半期	53,684	3.1	221		297		178	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 381百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 310百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	2.21	
2022年3月期第1四半期	7.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	132,579	74,347	55.6	2,924.15
2022年3月期	128,903	75,489	58.1	2,969.87

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 73,678百万円 2022年3月期 74,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				30.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	112,000	2.6	500	392.8	700	96.3	200	103.1	7.94
通期	225,000	2.9	1,500		1,900		950		37.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	26,505,581 株	2022年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,308,907 株	2022年3月期	1,308,897 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	25,196,675 株	2022年3月期1Q	25,402,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されるなかで、各種政策等の効果もあり持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響など不透明感がみられるなかでの原材料価格等の上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動などによる下振れリスクが懸念されています。

当業界におきましては、外食需要は持ち直しつつあるものの、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇に急激な円安進行が加わり、商品価格の改定を上回る製造コストの上昇や急激な物価上昇に対する消費者マインドの冷え込みが懸念されるなど、厳しい環境が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は、需要が回復した前年を下回って推移しております。一方で、米国産牛肉・豚肉は物価高に伴う需要の減少から現地相場は低下していますが、為替相場の影響により、輸入価格は高値で推移しております。また、輸入豚肉の価格高騰などの影響から需要が高まった国産豚肉は、前年を上回って推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.5%増の544億83百万円、営業損失は35百万円（前年同期は営業利益2億21百万円）、経常利益は前年同期比92.9%減の21百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は55百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億78百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

（単位：百万円）

	売上高（注）			セグメント利益又は損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	36,260	35,986	△274 (△0.8%)	28	△103	△132 (-)
食肉事業	17,385	18,458	1,073 (6.2%)	177	53	△124 (△70.1%)
その他	38	38	0 (2.0%)	14	14	△0 (△2.5%)
合計	53,684	54,483	799 (1.5%)	221	△35	△257 (-)

（注）売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

（単位：百万円）

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	16,070	15,266	△803 (△5.0%)
調理加工食品	20,190	20,719	529 (2.6%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」は、包装形態を巾着形態商品から新しく環境に配慮したパッケージに切り替えたほか、SNSを活用したキャンペーンの展開などにより消費者への認知向上を図りました。また、当社のロングセラー商品「フィッシュソーセージ5本束」が災害食大賞[®]2022において、特別賞として「防災安全協会賞」を受賞するなど、ローリングストックの実践を促す啓発活動を通じて、防災意識向上に貢献できるよう努めました。新商品では、国産スモークチップで燻した風味豊かなベーコンを厚めに切り落とした「パッと使える切り落としベーコン」や、岩塩とハーブをブレンドした調味料「クレイジーソルト」を使った「クレイジーソルトあらびきウインナー」などを投入し売上拡大を図りました。これらの施策を行いました。消費者の節約志向の高まりから価格改定への抵抗感は強く、当部門の売上高は前年同期比5.0%の減収となりました。

調理加工食品部門では、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズや「シェフの匠」シリーズのレトルトカレー商品は、商品育成や新規売場獲得を図ったことなどから売上高を確保しました。サラダチキンは、前年のコロナ禍で健康志向の高まりから需要が拡大した反動影響から売上高は下回りましたが、国内製造の「チキンナゲット」の拡販や、焼きあごと鰹の合わせだしで、深い旨みを感じられる「至高のから揚げ」などの新商品の投入に加え、内食需要の拡大から、大袋タイプで保存に便利なジッパー付きチキン商品の売上高は好調に推移しました。また、コンビニエンスストア向け米飯商品が堅調に売上高を伸ばしたほか、ホイップ済みクリームの高騰が伸長したことなどから、当部門の売上高は前年同期比2.6%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比0.8%減の359億86百万円となりました。価格改定の実施や合理化によるコスト削減に努めましたが、ハム・ソーセージ部門の減収や価格改定を上回る原材料・エネルギーコストの高騰などから、1億3百万円のセグメント損失（前年同期は28百万円の利益）となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、量販店向けの販売が、国産、輸入ともに低調に推移しましたが、外食産業向け販売が前年を大きく上回ったことなどから、国産牛肉は低調に推移したものの牛肉全体の売上高は前年を上回りました。豚肉につきましては、アウトバック商品が伸び悩みましたが、外食産業向け販売が持ち直したことなどから、国産、輸入ともに、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比6.2%増の184億58百万円となりました。急激な円安進行や飼料価格の高騰に伴う仕入価格の大幅な上昇に対して価格転嫁が十分に浸透していないことなどから、セグメント利益は、前年同期比70.1%減の53百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比2.0%増の38百万円、セグメント利益は前年同期比2.5%減の14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	128,903	132,579	3,675
負債	53,414	58,232	4,817
純資産	75,489	74,347	△1,141
自己資本比率	58.1%	55.6%	△2.5%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券5億44百万円の減少がありましたが、受取手形及び売掛金が14億51百万円、商品及び製品が15億72百万円、原材料及び貯蔵品が11億69百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ36億75百万円増加し、1,325億79百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が22億18百万円、有利子負債が15億52百万円、賞与引当金が5億54百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ48億17百万円増加し、582億32百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金3億88百万円の減少、剰余金7億55百万円の配当などから、前連結会計年度末に比べ11億41百万円減少し、743億47百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.5%低下し、55.6%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,788	490	△1,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△910	△1,394	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー	66	757	690
現金及び現金同等物の増減額	944	△146	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,420	7,844	△1,576

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や利息及び配当金の受取額の計上などから、4億90百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入がありましたが、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、13億94百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いによる支出がありましたが、有利子負債の増加などから、7億57百万円増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から1億46百万円減少し、78億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,990	7,844
受取手形及び売掛金	23,436	24,888
商品及び製品	11,227	12,800
仕掛品	464	465
原材料及び貯蔵品	5,181	6,350
その他	1,522	1,639
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	49,813	53,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,794	63,074
減価償却累計額	△44,958	△45,338
建物及び構築物(純額)	17,836	17,736
機械装置及び運搬具	73,270	74,062
減価償却累計額	△56,785	△57,552
機械装置及び運搬具(純額)	16,485	16,510
工具、器具及び備品	4,991	4,908
減価償却累計額	△3,505	△3,439
工具、器具及び備品(純額)	1,485	1,469
土地	18,722	18,719
リース資産	9,205	9,213
減価償却累計額	△4,149	△4,342
リース資産(純額)	5,055	4,870
建設仮勘定	500	879
有形固定資産合計	60,085	60,187
無形固定資産		
投資その他の資産	2,267	2,082
投資有価証券	11,718	11,174
関係会社株式	218	238
長期貸付金	16	17
退職給付に係る資産	2,130	2,238
繰延税金資産	319	359
その他	2,463	2,417
貸倒引当金	△129	△117
投資その他の資産合計	16,737	16,329
固定資産合計	79,090	78,599
資産合計	128,903	132,579

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,913	23,132
短期借入金	8,100	10,060
1年内返済予定の長期借入金	2,817	2,709
リース債務	1,084	1,063
未払金	6,216	6,666
未払法人税等	171	131
未払消費税等	308	299
賞与引当金	810	1,364
その他	1,308	1,612
流動負債合計	41,729	47,039
固定負債		
長期借入金	4,551	4,437
リース債務	4,118	3,954
繰延税金負債	992	779
退職給付に係る負債	1,378	1,390
その他	644	630
固定負債合計	11,685	11,192
負債合計	53,414	58,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	44,132	43,320
自己株式	△3,066	△3,066
株主資本合計	69,868	69,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,990	4,601
繰延ヘッジ損益	71	85
為替換算調整勘定	33	49
退職給付に係る調整累計額	△133	△115
その他の包括利益累計額合計	4,962	4,622
非支配株主持分	658	668
純資産合計	75,489	74,347
負債純資産合計	128,903	132,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	53,684	54,483
売上原価	45,481	46,815
売上総利益	8,202	7,668
販売費及び一般管理費	7,981	7,704
営業利益又は営業損失(△)	221	△35
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	5	3
不動産賃貸料	44	37
その他	98	82
営業外収益合計	152	127
営業外費用		
支払利息	55	55
その他	20	14
営業外費用合計	76	70
経常利益	297	21
特別利益		
固定資産処分益	124	4
特別利益合計	124	4
特別損失		
固定資産処分損	127	19
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	148	19
税金等調整前四半期純利益	273	6
法人税、住民税及び事業税	214	145
法人税等調整額	△135	△96
法人税等合計	78	48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	194	△41
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	14
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	178	△55

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	194	△41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△517	△388
繰延ヘッジ損益	△17	14
退職給付に係る調整額	25	17
持分法適用会社に対する持分相当額	4	15
その他の包括利益合計	△505	△340
四半期包括利益	△310	△381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△326	△396
非支配株主に係る四半期包括利益	16	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	273	6
減価償却費	1,869	1,864
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△96	△72
受取利息及び受取配当金	△9	△7
支払利息	55	55
投資有価証券評価損益 (△は益)	20	—
固定資産処分損益 (△は益)	3	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△978	△1,443
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△912	△2,733
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,202	2,218
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20	△8
その他	607	632
小計	2,054	512
利息及び配当金の受取額	163	187
利息の支払額	△45	△44
法人税等の支払額	△180	△144
特別退職金の支払額	△204	△19
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,788	490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
固定資産の取得による支出	△1,292	△1,435
固定資産の売却による収入	423	53
その他	△29	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△910	△1,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,252	1,960
長期借入金の返済による支出	△233	△222
リース債務の返済による支出	△230	△265
配当金の支払額	△717	△711
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	66	757
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	944	△146
現金及び現金同等物の期首残高	8,476	7,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,420	7,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	16,070	—	16,070	—	16,070	—	16,070
調理加工食品	20,190	—	20,190	—	20,190	—	20,190
食肉事業	—	17,385	17,385	—	17,385	—	17,385
その他	—	—	—	38	38	—	38
顧客との契約から 生じる収益	36,260	17,385	53,646	38	53,684	—	53,684
外部顧客への売上高	36,260	17,385	53,646	38	53,684	—	53,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	178	178	△178	—
計	36,260	17,385	53,646	216	53,862	△178	53,684
セグメント利益	28	177	206	14	221	—	221

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	15,266	—	15,266	—	15,266	—	15,266
調理加工食品	20,719	—	20,719	—	20,719	—	20,719
食肉事業	—	18,458	18,458	—	18,458	—	18,458
その他	—	—	—	38	38	—	38
顧客との契約から 生じる収益	35,986	18,458	54,444	38	54,483	—	54,483
外部顧客への売上高	35,986	18,458	54,444	38	54,483	—	54,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	201	201	△201	—
計	35,986	18,458	54,444	240	54,684	△201	54,483
セグメント利益又は損失 (△)	△103	53	△50	14	△35	—	△35

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。